

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	健康増進事業	会計名称	一般会計		担当課	健康増進課	
		予算科目	4 款 1 項 2 目	事業番号	2041	所属長名	下岡裕基
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	戸田ゆかり	
法令根拠等	健康増進法、がん対策基本法、(高齢者の医療の確保に関する法律)、平成28年度新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業実施要綱、愛媛県健康増進事業費補助金交付要綱				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 生涯にわたる健康づくり					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	総合計画における健康福祉都市の創造に向けて、全ての市民が生涯にわたる健康づくりに取り組むことで健康寿命の延伸を図ることができるよう、事業を実施することとする。						
事業の対象	市民		事業の目的		急速な高齢化の進展及び生活習慣病増加に伴うさまざまな健康課題について、市民一人ひとりが、生涯を通してこころ豊かで健やかな生活を送るため、個人、家庭、地域、学校、職場などがともに力を合わせ健康づくりの推進に取り組むとともに、健康づくりが日常生活に定着し、継続されることを目指す。		
事業の内容(整備内容)	伊予市健康づくり・食育計画に基づき、訪問指導、健康教育、各種がん検診等を実施していく。		昨年度の課題に対する具体的な改善策		コロナ禍でも感染対策を講じながら事業を実施した。引き続き、感染の流行に対応した事業実施方法を工夫していく。また、健康ポイント事業については、達成券の他、商品券も選択できるようにし、活用の幅を広げた。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)						
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績	
直接事業費	22,146	0	0	0	0	30,565	乳がん無料クーポン券を使って健診を受けた人の割合	%	26.3	26.7		26.7	
財源内訳													
国庫支出金	92	0	0	0	0	102							
県支出金	900	0	0	0	0	1,046							
地方債		0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0							
一般財源	21,154	0	0	0	0	29,417							
職員の人工(にんく)数	1.65	1.65				0.00							
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841							
※ 直接事業費+人件費	35,036	12,938				30,565							
主な実施主体				実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		健康増進事業費							
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)					4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年間の合計			
					50,000	50,000	50,000			150,000			
成果指標	指標	乳がん無料クーポン券を使って検診を受けた人の割合		単位	⇒	区分年度	前年度	3年度	4年度	目標 毎年度			
				%		目標	30	30					
	指標設定の考え方	乳がん検診クーポン対象者が無料クーポン券を使って乳がん検診を受けた人の割合を成果指標とする。				実績	26.3	26.7					
	指標で表せない効果												

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		新型コロナウイルスの流行で、検診受診者が減ったり、集団健康教育が開催できない状況が続いた。												
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が	S	事業成果・工夫した点	感染対策をとりながらの検診、健康相談会を開催した。参加者の不安を解消するような周知をした。健康教育を急遽個別対応とした事業もあった。					
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	5					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	5									
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が				A				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	3						14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4									
	効率性	手段の最適性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	5	合計点が	A		事業の苦勞した点・課題		新型コロナウイルスの流行に左右された。			
			コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4							14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	4										
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が				S		事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 健康寿命の延伸及び増大する医療費を抑制する上で、事業を継続していく必要がある。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	5									14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	4									
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が	A								
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	4			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4										
効率性	手段の最適性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が		B	所属長の課題認識		今年度も新型コロナウイルスの影響を受けた事業もあるが、今後も感染対策を図りながら、事業に取り組んでいく必要がある。				
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3							14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3											

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 健康診断や健康相談・指導等を実施する本事業は、健康課題の早期発見による健康寿命の延伸と医療費削減に貢献する事業であるが、長期化するコロナ禍を踏まえ、引き続き事業進捗への影響に留意する必要がある。なお、集団検診における宮下集会所と佐礼谷改善センターについて、地元意向確認のうえ検討する必要がある。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。		